

報道資料、2015年11月20日

第6回トレイルランニング世界選手権大会を 2016年10月29日にポルトガルで開催することを決定



先般11月11日にポルトガル・ブラガにおいて、国際ウルトラランナーズ協会（IAU）とポルトガル陸上競技連盟は2016年トレイルランニング世界選手権大会について、同国ジェレス（Geres）で2016年10月29日に開催することを発表しました。ジェレスはペネダ・ジェレス（Peneda-Geres）国立公園内に位置し、大会のコースは距離85km、累積獲得高度4,500mD+となります。IAUおよび国際トレイルランニング協会（ITRA）はこの大会を後援します。

ITRA副会長のジョゼ・カルロス・サントス（Jose Carlos Santos）は次のようにコメントしています。「今年2015年にフランス・アヌシーで開催されたトレイルランニング世界選手権大会は、ITRAとIAUが協力することで大きな成功を収めました。これを受けて両団体は2016年以降も協力を続けていくこととしました。世界選手権大会ではトレイルランニングというスポーツが大切にすべき価値観を体現するとともに、世界的な実力を持つトップアスリートの参加を歓迎します。」

IAU会長のディルク・シュトルマン（Dirk Strumane）は次のように述べています。「世界選手権大会を開催するにあたっては、国際陸連（IAAF）の公認団体である当連盟がトレイルランニングにおいても協力するのは当然の責務です。」加えて、「IAUはウルトラマラソン競技を所管し、その世界選手権大会を開催する上で重要な役割を果たしてきた経緯があります。二つの団体が協力することで、国際的な大会にふさわしい準備、運営、さらに見ごたえのあるレースの展開とすることができます。」と話しています。

この大会の競技委員長（テクニカル・ディレクター）は、数々の大会での好成績で知られる有力なトレイルランニング選手であるカルロス・サ（Carlos Sa）が務めます。

あわせて、ITRAではトレイルランニングにスポーツとして考慮すべき事情や価値観があることを踏まえて、国際的な議論の場を設けることを検討しています。こうした場を設けることにより、選手、競技団体、各種メディア、大会主催者など様々な関係者の考え方を集約し、来る世界選手権大会に向けて最善の方策をとることを目指しています。議論すべきテーマとしては、世界大会の開催頻度、大会の形式、参加選手の選抜基準などを想定しています。さらには、この議論が国際的なトレイルランニング界における議論や調整の先例となることも期待しています。

ITRAについて：国際トレイルランニング協会（International Trail-Running Association, ITRA）は国際陸連（IAAF）の公認を受けた競技団体で、トレイルランニングの国際的な発展を目指しています。

IAUについて：国際ウルトラランナーズ協会（International Association of Ultrarunners, IAU）は国際陸連の後援を受け、国際陸連の定める競技規則の下で長距離走競技の国際的な発展のために活動しています。

問い合わせ先

国際トレイルランニング協会（International Trail-Running-Association）
ミシェル・ポレッティ（Michel Poletti）
携帯電話：+33 6 08 02 94 68 メール：Email: contact@i-tra.org

報道関係の問い合わせ先

INFOCÎMES アン・ジェリー（Anne Gery）
電話：+33 (0) 4 50 47 24 61
携帯電話：+33 (0) 6 12 03 68 95 メール: annegery@infocimes.com